

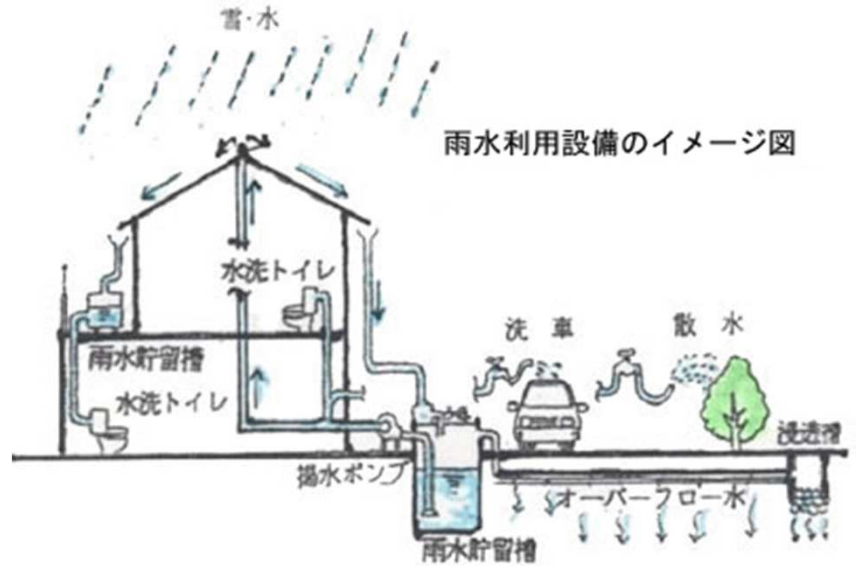


ご存知ですか？大須観音の「仁王？かなりのにらみ」です。東西南北四方に門、南側にあるのが仁王門です。この門前筋を、仁王門通りといいます。この界限、大型バスで観光客の皆さんが！どっと押し寄せ！付近のトイレも大行列！であふれているときがあります。2月は、恒例「節分会」「福は内！」、特設会場は準備万端！今年は、5年ぶりに、2月3日は日曜です。いつもにもまして混雑予想！どんな「豆キャッチャー」(左写真)が登場するでしょう。さて節分と言えばもう一つ、そう「恵方巻」、その年の恵方に向けて無言で、切らずに？これは「縁を切らないように」って意味らしいです。「福を巻き込む」ことからきているとも言われ、具材は七福神にちなんで7種類使うと、より福が呼び込めるとか？さてみなさんも一緒に、今年は「南南東やや右」に向かって食べませんか？いや食べましたか？

### 雨水利用って？

#### 利用事例

- ①散水・打ち水・・・「打ち水大作戦」といったひとつのイベントとして行うこともあり、アスファルトへの打ち水、草花への散水。
- ②壁面・屋上緑化への水やり・・・植物に必要な水に、水道水を使うのではなく、雨水を活用する。
- ③都市型洪水の防止・・・集中豪雨などによる河川の急な増水による事故、一時的な貯水、地下に雨水を浸透させる。
- ④災害時用雑用水・・・災害時のトイレに使用するため雑用、洗濯用に雨水を蓄えて、使用する。
- ⑤学校教育としての雨水利用・・・水の循環は最も身近な環境教育、水は有限な資源であり、雨水タンクという小さなダムに貯水された水を使う。



雨水利用設備とは・・・  
雨水を集水・貯留し、必要に応じて処理後、雑用用水として給水・利用する。用途は、便所洗浄水、水、散水などである。設備システムの構成は集水設備、貯留設備、処理設備、給水設備からなっています。  
集水は一般的に屋根、屋上面からとし、貯留槽は地上など、また大型建物では、地中梁空間を利用設置されているのが一般的です。

### ECO×モ・・・ 環境税とは？

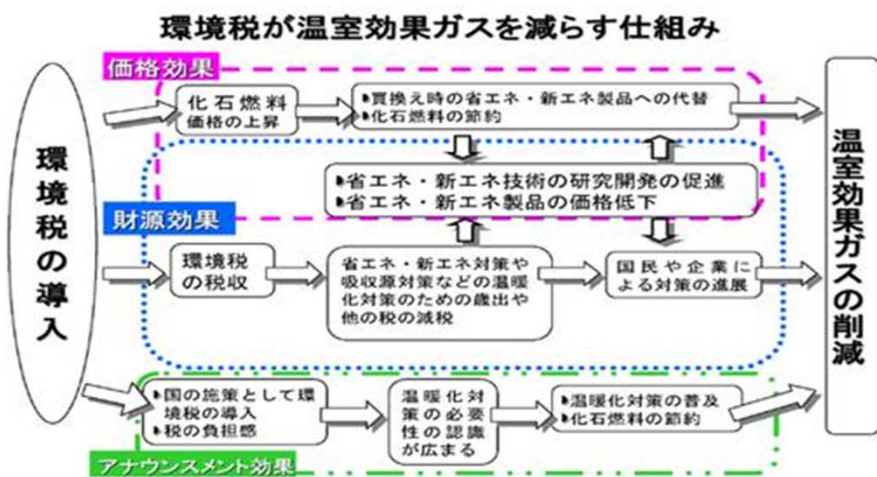
再生可能エネルギーの導入や省エネ対策といった地球温暖化対策を強化するため、平成24年10月1日から「地球温暖化対策のための税(環境税)」が段階的に施行されています。石油・天然ガス・石炭などの化石燃料の利用に対し、環境負荷に応じて広く公平に負担を求めるものです。

仕組み：石油・天然ガス・石炭など すべての化石燃料に対しCO2排出量に応じた税率を上乗せします。(CO2排出量1トンあたり289円に等しく設定。税率は3年半、3段階に分け、引き上げ)

**環境税って何だろう？**

「環境税」って聞いたことある？  
環境税は、地球温暖化を止めるため、電気・ガスやガソリンにかかる税金。地球温暖化の原因となる二酸化炭素を空気中に出すとお金を払わなければいけない仕組みだよ。温暖化を止めるために必要だという人がいて注目を集めてるんだ。

環境税について、ぼくと一緒に考えてみよう。



暮らしへの影響：家計への負担は、現在のエネルギー消費量などをベースにした試算によれば、平均的な世帯で月100円程度、年間1200円程度と見込まれます。(24、25年度の月々の負担はその1/3程度と考えられます。)

このような負担を減らすためにも、冷暖房の設定温度の調整や自動車のアイドリングストップなど暮らしの中で省エネを心がけることも大切です。税収の使い道：省エネルギー対策や、再生可能エネルギーの普及などCO2排出を抑制するためのさまざまな施策の実施。